

委員会のうごき

総務文教常任委員会

委員会に付託された議案については、平成25年度八潮市一般会計歳入歳出補正予算（第6号）の分割付託1議案、平成26年度八潮市一般会計予算の分割付託1議案、その他の4議案のあわせて6議案の審査を行いました。

また、請願第2号南部地区区画整理事業区域の新町名案に関する請願書の審査も行いました。

八潮市一般職の任期付短時間勤務職員の採用に関する条例についてでは「賛成の立場で討論します。本来、市の仕事は正規職員で行うべきと考えますが今回の条例案は税の収納向上を目的に採用を検討しているのとこととでした。これの活用は、現在限定的に考えているとの説明もありましたことから賛成します」との発言がありました。

町の区域を新たに画することについてでは、「この議案について反対します。この議案の提案者は市長です。先ほどの請願の審査の中で、市長は、この案を決めたのは5回の「意見交換会を経て、八潮南部中央地区町名検討協議会」としてありますが、この交換会、協議会も非公式の会議という位置付けと説明されています。仮に、協議会が決めたとしても、議案提出にあたっては、市長は、その案を「よし」と判断したから、議案として提案したわけです。議案の内容について、「私が決めたわけではなく、協議会が決めた」

というのは誤りで、議案者である首長が議案の提案理由を説明するのが、首長の責務です。しかし、説明は「町会の合意があった、協議会が決めた」というばかりで、責任を町会・町会長に転嫁しているような感じがします。町会自治会という地縁団体に、地名の変更権限はありません。町会・町会長に地名の変更権限があるかのように、市が信じこませて、推進してきたばかりか、責任まで押し付けるようなことは問題です。このようなやり方で進めたことは、今後、西地区の町名を検討する上で、新たな火種になると懸念されるし、今回のことを認めれば、町会毎に合意があれば自由に町名を変更できるといふ悪しき前例を示すことになり、到底、賛成できません」との発言がありました。

議案の審査結果については、6議案全て可決すべきものと決しました。

建設水道常任委員会

委員会に付託された議案については、平成25年度一般会計補正予算（第6号）の分割付託1議案、平成26年度八潮市一般会計予算の分割付託1議案、その他の20議案のあわせて22議案の審査を行いました。

平成26年度八潮市公共下水道事業特別会計予算についてでは、「下水道使用料に消費税5パーセントから8パーセントへの増税分が見込まれています。さらに10パーセントに消費税増

税引き上げも打ちだされておられ、市民の暮らしへの負担はますます重くなりつつあります。人々の生活の基礎となる下水道使用料の引き上げは認められません。よって本議案に反対します」との発言がありました。

平成26年度八潮市上水道事業会計予算については、「水道事業の運営については努力されていますが、本予算には水道料金の消費税分が見込まれたものとなっている。市民の命の元である水を供給する水道の料金に消費税をかけるのではなく、収益の中でやりくりして、市民負担を重くすることのないよう求め、本議案に反対します」との発言がありました。

議案の審査結果については、22議案全て可決すべきものと決しました。

福祉環境常任委員会

委員会に付託された議案については、平成25年度一般会計補正予算（第6号）の分割付託1議案、平成26年度八潮市一般会計予算の分割付託1議案、その他10議案のあわせて12議案の審査を行いました。

平成26年度八潮市後期高齢者医療特別会計予算については、意見として「本予算は、2年後ごろの保険料見直しの予算です。広域連合では、平成25年度末、決算剰余金82億円、財政安定化基金84億円、合計166億円財源があるにもかかわらず、平成26年・27年の保険料抑制に一部しか使うことなく温存していま

す。せめて、決算剰余金82億円をすべて保険料軽減のために使うべきです。なぜなら、決算剰余金は、医療費が少なくて済んだため生じたものだからです。年金引き下げ等で、高齢者の生活は厳しいものとなっています。保険料の大幅引き下げを広域連合に働きかけることを求め、本議案に反対します」との発言がありました。

議案の審査結果については、12議案全て可決すべきものと決しました。

陳情・要望

■要支援者を介護予防給付から外すことに反対する陳情書

陳情者住所 埼玉県三郷市鷹野4-494-1

陳情者 東京民医連労働組合健和会支部執行委員長 北川秀和

■これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書

要望者住所 東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号（日本青年館内）

要望者 日本青年団協議会会長 立道 斉

■議案第36号 八潮市副市長の選任について

3月31日をもって任期満了となる八潮市副市長に、斎藤順一氏（さいとう じゅんいち、川口市東川口6丁目7番33号）が選任されました。

■議案第37号 八潮市監査委員の選任について

3月31日をもって任期満了となる八潮市監査委員に、原寿基氏（はら ひさき、八潮五丁目3番地2）が選任されました。

議会を傍聴しましょう

本会議及び委員会は、どなたでも傍聴することが出来ます。定例会は年4回開かれ、次回は6月2日に開会予定となっています。傍聴は、市議会の活動にふれることのできる身近な方法ですので、ぜひ傍聴してください。

●本会議の傍聴

一般席の傍聴人の定員は42人です。

傍聴を希望される方は、傍聴申込書に住所・氏名を記入し、傍聴者入口から傍聴席に入ります。

定員を超えた場合、入場を一時お待ちいただくことがあります。

傍聴者数93名

●委員会の傍聴

委員会を傍聴できる人数は10人までです。

なお、傍聴の手続きは、本会議と同様です。

●傍聴する際の注意事項

傍聴する際は、騒ぎ立ててはいけないうなど、傍聴規則を守りましょう。

また、傍聴する方は、傍聴席において写真、ビデオ等の撮影又は録音等を行うことができません。

なお、携帯電話の電源はオフにしてください。

編集後記

議会報編集委員会から



3月議会報告をお届けします。3月は別れの季節。卒業式に参加し、心打たれるものがありました。中学では、卒業生の合唱大会の発表曲の披露があり、この歌声を聴けるのが楽しみです、生徒たちの歌声が私の心をゆさぶりました。小学校では、校長先生が一人ひとりの子の名をあげ、力をつけたこと、頑張ったことを披露してください、子どもたちの顔が輝いていました。友や先生たちとの別れを惜しみ、涙をながす子らを見て、私ももらい泣き。保護者へのお祝いの気持ちと先生方の日々の努力に感謝。

（池谷和代）